

2024年3月5日

新造 LNG 船の長期定期傭船契約を商船三井と締結

東京ガス株式会社

東京エルエヌジータンカー株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）の 100%出資子会社である東京エルエヌジータンカー株式会社（社長：竹内 敦則、以下「東京エルエヌジータンカー」）は、株式会社商船三井と、新造 LNG 船 1 隻（以下「本船」）の長期定期傭船契約を締結しました。今回の締結により、東京エルエヌジータンカーが長期傭船契約を締結する LNG 船は 11 隻^{*1}となります。

本船は、韓国の Hanwha Ocean Co., Ltd.（ハンファオーシャン社）のコジェ造船所にて建造予定で、燃料消費効率を改善した最新型のマンエナジーソリューション社製エンジン（ME-GA）^{*2}を搭載し、従来の LNG 船と比べ、温室効果ガスの相当な排出削減が期待されます。なお、2026 年より、東京ガスグループの原料調達や LNG トレーディングで活用される予定です。

東京ガスグループは、本船の契約により、世界の LNG を取り巻く環境が変化している中、今回の契約により環境に一層配慮しつつ、引き続き安定したエネルギー調達を推進していきます。

【本船概要】

主要寸法	全長294.9m 船幅46.4m
船型	船型174,000m ³ メンプレン型
搭載主機	ME-GA
航海速力	毎時19.5ノット
竣工予定	2026年

東京ガスグループは、経営ビジョン「Compass2030」で「CO₂ネット・ゼロへの挑戦」ならびに「LNGバリューチェーンの変革」を掲げています。AO&T^{*3}の高度化を実現し、安定性・環境性・柔軟性に優れたエネルギー供給を通じて、「エネルギー安定供給と脱炭素化の両立」を実現してまいります。

*1：本船以外の LNG 船長期定期傭船契約

- ・エネルギーフロンティア（2003 年就航 商船三井管理船）
- ・エネルギーアドバンス（2005 年就航 商船三井管理船）
- ・エネルギープログレス（2006 年就航 商船三井管理船）
- ・エネルギーナビゲーター（2008 年就航 商船三井管理船）
- ・エネルギーコンフィデンス（2009 年就航 日本郵船管理船）
- ・エネルギーホライズン（2011 年就航 日本郵船管理船）
- ・エネルギーリバティ（2018 年就航 商船三井管理船）
- ・エネルギーグローリー（2019 年就航 日本郵船管理船）
- ・エネルギーイノベーター（2019 年就航 商船三井管理船）
- ・エネルギーユニバース（2019 年就航 商船三井管理船）

*2：推進用 DF（Dual Fuel）低速ディーゼルエンジン。燃料油を用いるディーゼルモードと天然ガスを用いるガスモードでの運転が可能。排気ガスを循環させる EGR（Exhaust Gas Recirculation）を搭載していることにより、NOx 排出量の低減やガスモードでは未燃ガスの排出削減と燃費向上が計られ、温室効果ガス削減に寄与する

*3：Asset Optimization & Trading：設備最適稼働とトレーディングの一体運用

以上